

(仮称) 鎌倉市地域公共交通計画策定に関する
地域との意見交換会

議 事 要 旨

日 時：令和7年(2025年)9月10日(水)午後7時00分～8時30分
場 所：鎌倉市役所 講堂

鎌倉市 まちづくり計画部 都市計画課

○ 主な御意見

- ・2024年問題によるバスの減便前に比べて回送バスが増えた気がする。運転手の勤務時間の問題と思うが、AI等で分析しながら効率よく運行してもらえないものか。
- ・バスはたまに使うが、21時以降になると、30分や40分に1本という形となったり、乗り継ぎが必要となったりしており、運行間隔が気になる。また、朝の時間帯は渋滞に巻き込まれて遅れてしまう。
- ・オーバーツーリズムの関係で、路線バスや江ノ電（鉄道）に乗り切れないことがある。旅行シーズン（花見やあじさいのシーズン）などで特に今年はひどい状況であった。旅行者は仕方ないが、迂回できない鎌倉山の人困っていると思う。
- ・鎌倉は観光都市であるが、奈良、京都、広島なども同じような課題を持っているはずである。観光地ということで意見交換をしてはどうか。
- ・鎌倉市は道路が狭く、高低差もある。バスが走っていない地域が問題であり、不便地域をもっと絞り込んで、デマンド交通などの具体的な提案をお願いしたい。その上で、不便地域の住民と会話をしてどのような施策を導入するかなど、もっと踏み込んだことを検討してほしい。
- ・鎌倉駅でタクシーを待っていても来ない。公共ライドシェアのようなサービスができればよいと考える。
- ・西鎌倉地区は高齢化が進み、勾配が非常に大きい地域である。一方、近年転居してくる若い人もみられる。そのような中で高齢ドライバーの事故の増加が非常に心配される。本地区においては、バスではすべての要望を満たせず、タクシーが重要な移動手段と考えるが、タクシーは全然来ない。そういった中で、バスでもタクシーでもない新しいモビリティ（オンデマンド交通、公共ライドシェア）の導入が求められ、そういった新しいモビリティの実証実験を西鎌倉地区で行い、その結果を市内の他地区に横展開してはどうか。近隣の深沢地区では開発もあり、外出機会の創出の観点から取り組むことで、他地区よりも成功の可能性は高いと考える。
- ・西鎌倉地区の交通の課題は高齢者と地域特性（急勾配）である。自動車が手放せないので事故の危険性があるし、夜間移動するときにも移動手段がない。高齢者の移動手段の確保はデマンドバス、終電後の交通手段の確保は公共ライドシェアで対応できるのではないかと考える。
- ・古都の風情を守りながら、住民も観光客も安心して移動でき、環境にも優しい、歩いて楽しむ鎌倉を目指してはどうか。望ましい姿としては、円滑な移動ができること、安全・安心なこと、拠点の賑わいと地域活性化、環境負荷の少ないまち、市民と観光客が共存できる仕組みづくり、データに基づく持続的な運営ができることが望ましい姿ではないかと考える。

- ・課題としては、違法駐車問題や、観光と生活の両立、MaaS アプリなどの実装、環境と脱炭素に対する取組などを考える必要があるが、財政なども問題となる。
- ・バス事業者が指摘した課題はその通りであり、遅延が発生し、定時性が保たれないから利用者が減る。バス事業が儲からない仕組みになっていることが問題であり、儲かる仕組みになるように考えるべきである。
- ・路上駐車の問題は自治会でも問題となっている。行政、警察、交通事業者と一緒に検討して欲しい。

以上